

広島長束教会に遣わされて

井上 豊

このたび広島長束教会に招かれまして、新しい歩みを始めることが許されましたことを心から感謝いたします。昨年、私が最初に招聘の話をいただいたときはとても嬉しかったです。広島長束教会といえば、尊敬する三輪先生が牧しておられるところですし、また日曜学校夏期学校などのおつきあいを通してとても親しみを覚えていた教会だったからです。しかし、まず第一に神様のご意思が問われなければなりません。広島という過去において大きな痛みとそのことによる使命をかかえている地に置かれた教会、そこに私のような者が来たからといっていったい何が出来るのかと、祈りつつ考え、ただ主の御導きを信じて、謹んで招聘を受託することにいたしました。

牧師就職式で鈴木攻平先生が言われた、まずいちばん大切なことに努めて、それ以外のことに手を出さないという勧告はまさに私に向けられたものであったと受けとめています。教会が政治に関わったり、幼稚園や学校運営に乗り出したり、さまざまなイベントによって人集めするということがありますが、それによってみことばを語る事が二の次になってしまったとしたら、いったい何のための教会でしょうか。私はいろいろなことに興味があつて、手を広げすぎるところがあるので、伝道の根本に帰ることを第一に心がけて行きたいと思ひます。

広島長束教会に赴任してみて、ここはたいへん良い教会だと感謝していますが、いま体の不調を訴える方が多いのが気がかりです。どうか、みことばによって病に打ち勝つ力が与えられますように。また地域とのつながりがまだ十分に出来ていないようにも感じています。近所の人たちが、たとえ自分は信者でなくても、子供たちに「教会、あぁいいよ、行ってらっしゃい」と言って、気軽に送り出すことの出来るような教会になってほしいと願っています。

教会を支える一人ひとりの力は小さいものかもしれませんが、しかし、主が先頭に立って導いておられるのですから、主のもとで皆が一つの思いになるなら、そこに希望が生まれ、それは出来事となって結実していくでしょう。

これから広島長束教会に、伝道の進展をはばむ力とのたたかいがあることが予想されますが、主のもとで労苦が喜びに変えられることを信じて喜んでいきます。私と家族を、どうぞよろしく願ひいたします。



井上牧師一家を紹介します。

井上豊牧師 1957年札幌生まれ。日本キリスト教会神学校を卒業後、札幌北一条教会、出雲今市教会で奉仕されました。

楊麗栄（ようれいせい）さん 中国の広西チワン族自治区から来ました。有名な景勝地、桂林の近くにある柳州市の出身です。

長男の暁（あきら）くん 05年生まれ、電車が大好きです。7月から中筋保育園に通っています。

慧子（けいこ）ちゃん 08年生まれ。最近、はいはいが出来るようになりました。



↑鈴木沖代姉妹「響展」より「広島長束教会」

編集後記

◇ “ミニバラ” No.25 をお届けします。今回は牧師就職式記念号のようなものになりました。皆さんが広島長束教会のことを思い、祈って下さる気持ちにお応えしようと心をこめて作りました。三輪先生の時から始められた“ミニバラ”の発行がこれからも滞りなく続けられ、読者を主にある慰めと喜びで満たしてくれことを願っています。

井上 豊